

保護者の約5割、スマホは子どもに悪影響

～東京都「家庭での青少年の携帯電話等の利用等に関する調査結果」より～

※今回の調査は、東京都内在住で小学4年～高校生の子どものスマホなどを持たせている保護者（1,500人）を対象に行われたものです。（平成30年2月、東京都青少年・治安対策本部調査）

1 悪影響について

保護者の**51.2%**が、子どもに睡眠不足や集中力の低下などの「悪影響がある」と感じており、昨年の調査より、**10.8ポイント**増えている。



<特に多かったもの>（※複数回答）

- ・睡眠不足になった 19.9%
- ・視力が落ちた 18.7%
- ・勉強に集中できなくなったり、記憶力が下がったりした 15.3%
- ・家族や友達と過ごす時間が減った 12.7% など



2 トラブルについて

利用中のトラブルについては、昨年調査よりも**6.5ポイント**増の**16.2%**が「ある」と回答した。無料アプリやメールが原因で**友達とトラブル**になったり、身に覚えのない料金をメールで請求されたりするケースが目立った。

3 家庭内のルールについて

家庭内のルールについては、作っているとの回答が昨年調査より**12ポイント**増の**71.7%**と大きく増加したが、ルールが守られているとの回答は**73.8%**と昨年調査より**8.2ポイント**減となった。

<家庭内のルールで特に多かったもの>（※複数回答）

- ・利用する時間の制限 34.6%
- ・困った時は保護者に相談 30.8%
- ・利用するマナーについて 26.3%
- ・利用料金の制限 24.3% など



<参考>

- ・東京都青少年・治安対策本部「家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査」
<http://www.seisyounen-chian.metro.tokyo.jp/seisyounen/tyousa-keikaku/chousa/keitai/index.html>

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田

☎:0776-20-0745（直通） メール：h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp